



林町の教育

<http://www.bunkyo-tky.ed.jp/hayashichou-ps/>

令和5年5月31日発行

伝え合うことを大事にする

校長 津島 弘和

先日は、令和6年度の運動会が多くの保護者・地域の皆様に見守られて、実施できました。子どもたちの頑張りの成果を温かい気持ちで見守っていただいたことをうれしく思います。今後も、教職員一同たゆむことなく「誰もが自由闊達に、夢を実現できる学校づくり」に向けた教育活動をより一層推進して参ります。今後とも変わらぬご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

さて、小学校高学年の頃に見た映画で「天地創造」という作品がありました。「天地創造」は、旧約聖書のエピソードから天地創造に始まり、ノアの箱舟に至る物語を描いたスペクタクル巨編です。その中で、「バベルの塔」のエピソードをとっても印象的に覚えています。そのエピソードの概要は、「その昔、人間が、『バベルの塔』と言う、天にも届くような建物を作り神様に挑戦しようとする。それに対して、神様は怒り、人間が様々な言語をしゃべらせるようにする。作業員たちの言葉が通じないことにより、建築現場は混乱する。混乱が混乱を呼び、最終的に『バベルの塔』は、崩れ落ちてしまう。」と言うものでした。

私が、なぜこのエピソードを印象的に覚えているのかというと、子どもながらに、「言葉が通じないくらいで、人間の夢である『バベルの塔』の建築がうまくいかなくなってしまうのか？」と思ったことと、「バベルの塔」の建築作業が滞るだけでなく、崩れ落ちてしまったことが衝撃的であったからです。

最近、このエピソードについて「もし『バベルの塔』の建築が、決まり切った作業を行っているのであれば、言葉が通じないくらいで崩れることはなかったのではないか。もしかしたら、『バベルの塔』の建築は、当時の人間にしてみたら未知の取組であり、多くの人たちがコミュニケーションしながら複雑なことを様々な方法で伝え合いながら取り組んでいた事業であった。つまり『バベルの塔』建築の肝は、コミュニケーションであった。だから崩れる位のダメージを負ってしまったのではないか。」と、考察するようになりました。

話を学校教育に落とし込むと、子どもたちの教育は、当時の『バベルの塔』の建築と同じく、一人一人に対するオーダーメイドですすめられなくてはなりません。さらに、複雑で正解や結果が分かりづらい未知の取組であると日々考えています。そのようなことを推進する上で重要なことは、やはり『バベルの塔』の肝と同じくコミュニケーションであると考えます。

ホームページ等でもお知らせしていますが、昨年度の学校評価のアンケートを保護者の皆様にとったとき、「学校の取組についてわからない。」という内容の項目が多くありました。これについて、危機感をもみました。私たちは、伝えているつもりでいたからです。昨年度末から、学校の取組を伝える方法の質的な改善について校内で検討して参りました。その上で、保護者会の持ち方、通知表（あゆみ）の記載内容、個人面談の実施について変更することにしました。

一つ一つの変更については、別途お便り等でお知らせして参ります。お伝え方法のみを変えるのではなく、互いに伝え合えることを大事にした変更にします。年度途中でのお伝えとなり大変恐縮ではございますが、よりよい林町小学校の教育が展開されるように参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

以前に、給食室の工事についてお伝えしましたが、世界的な銅線不足の影響により、今年度は見送ることになりました。ご心配をおかけした皆様、お知らせが遅くなり大変もう訳ありません。

今年度は、旧図書室とPTA会議室をつなげ普通教室にする工事を夏期休業中に行う予定です。日程等詳細については、詳細が分かりましたら、別途お知らせいたします。

「運動会を終えて」

体育主任 塚越 潤

5月24日(金)児童鑑賞日の運動会を実施しました。今年度は赤白をつけて取り組みました。団体種目では、子どもたちは自分の出番になると精一杯力を出し尽くし、自分の学年でないときは大きな声で応援をしていました。今年度の団体種目の結果は引き分け。赤組も白組もお互いをたたえ合い、笑顔で終えることができました。表現運動では、どの学年も練習の成果を存分に発揮して、生き生きと表現する姿が見られました。中でも6年生は、難易度の高い組み立て体操の技に挑戦しました。一人でも欠けたら技は完成しません。そんな大きなプレッシャーの中、見事すべての技を披露することができました。小学校生活最後の思いをのせた表現、仲間と協力して成し遂げた技は見ている人の心を震わせました。力を出し尽くした6年生の表情からは「やりきった。」という達成感でいっぱいの笑顔。運動会という一つの行事を終え、6年生は最高学年としての自覚が更に芽生え、下級生は6年生に憧れを抱く。そんなすてきな運動会となりました。

「ふれあい月間について」

生活指導主任 岡村 光一郎

東京都教育委員会では、いじめや自殺、犯罪・非行等の問題行動、不登校等の未然防止やその対応に向けた取組の充実を図るため、6月・11月を「ふれあい月間」と定めています。本校では、健全育成のための道徳の授業や、6年生と4年生によるあいさつ当番、セーフティ教室などの犯罪・非行防止のための授業を重点的に行います。また、6年生が作成した「ふれあい月間ポスター」を校内に掲示し、学校全体の意識を高めます。そして、全校児童を対象とした「こころのアンケート」を実施することで、学校生活における子どもたちの様々な声に耳を傾け、個に応じた対応を進めていきます。今年度が始まって約2か月が過ぎ、どの学級も穏やかな雰囲気定着しています。そんな時期だからこそ、今一度、現状を点検・確認することが大切です。このひと月を安心・安全な環境づくりのための有効な機会として活用して参ります。

「水泳指導について」

水泳担当 山崎 国弘

6月17日(月)にプール開きを行い、今年度の水泳指導が始まります。

水泳指導では「水に親しみ、水泳に対する楽しさを味わう。」「水に慣れ、水中での体の動かし方を身に付ける。」「危険に対処する態度や泳げることを目指して努力する態度を育てる。」の三つの目標掲げています。学年の発達段階に応じて、様々な水遊びや水慣れの中で、もぐる・浮くなどの水中での体の動かし方、けのび・クロール・平泳ぎなどの泳ぎ方を学習していきます。

水泳運動は全身を使うため、身体の調和的な発達にとってもよい運動です。子どもたち一人一人がめあてをもち、充実した学習ができるよう、安全面・健康面での配慮を十分に行いながら指導にあたっていきます。ご家庭でも水泳カードの記入や健康管理のご協力をお願いいたします。

【6月の生活指導】

正しいいな言葉づかいをしよう

【6月の行事予定】

		行 事		
1	土			た
2	日			た
3	月	全校朝会 安全点検 避難訓練	☆	ア
4	火	245年ソフトボール投げ ひまわり八ヶ岳宿泊学習事前検診	☆	ア
5	水	音楽朝会 136年ソフトボール投げ ひまわり八ヶ岳宿泊学習始	☆	ア
6	木	ひまわり八ヶ岳宿泊学習 246年耳鼻科検診 ソフトボール投げ予備日		ア
7	金	ひまわり八ヶ岳宿泊学習終	☆	ア
8	土			た
9	日			た
10	月	全校朝会 安全指導 避難訓練予備日	☆	ア
11	火	4年水道キャラバン クラブ活動⑦		ア
12	水	体育朝会 4時間授業	☆	ア
13	木	5時間授業 委員会活動⑥	☆	ア
14	金		☆	ア
15	土	たいさん木広場イベント(ペットボトルロケット)		
16	日			た
17	月	全校朝会 水泳時間開始・プール開き 5年音楽鑑賞教室		ア
18	火	6年プログラミング学習 3年遠足	☆	ア
19	水	児童集会	☆	ア
20	木	1年福音館書店読み聞かせ	☆	ア
21	金	6年プログラミング学習	☆	ア
22	土	土曜授業公開【特別時程】3時間授業 56年いのちと心の授業		た
23	日			た
24	月	全校朝会 6年プログラミング学習	☆	ア
25	火	6年プログラミング学習 クラブ活動⑦ 3年遠足予備日	☆	ア
26	水	ペア学級活動		ア
27	木		☆	ア
28	金	定期健康診断終	☆	ア
29	土			た
30	日			た

カ-ルカ-来校日 3日 6日 10日 17日 24日 (都:萬屋)

水金(区:伊藤)

☆ ICT支援員来校日

校庭開放: た(たいさん木) ア(アクティ林町)